

広報

# こだま

2021

Vol.37

【栗田病院 広報誌】

## 新年のご挨拶

理事長 栗田 裕文・院長 安部 秀三

## 広報散歩

居宅介護支援事業所 クリクリ

## フォーカス くりた人

介護福祉士 友常佑二

## 新型コロナウイルスに関する当法人の 対策について



### 栗田病院グループ・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員と  
いったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続ける  
ことです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に  
質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会  
**栗田病院**

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505  
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com  
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>

# 理事長・院長より新年のご挨拶

## 理事長よりご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。今年も皆様へ新年のご挨拶が出来ますこと、とても嬉しく思います。昨年、2020年（令和二年）は何と云っても、COVID-19が猛威を振るった年となりました（そして2021年1月現在も同様です）。COVID-19に伴い、仕事の仕方、価値観など、社会の様々な変化がもたらされた、正しく激動の一年でした。

そんな厳しい年でしたが、様々な方々からの教えや学び、出合いの機会に恵まれ、恒ならぬ状況だからこそその実りもまた、得ることが出来たのは、患者様・利用者様やご家族様、連携をいただいております諸機関をはじめとした地域の皆様、そして有朋会スタッフの皆さん等々、沢山の方々に支えていただいている、応援をいただいているお陰と実感しております。この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

ワクチンの開発もあり、COVID-19の終息は徐々に見えてくるとは思いますが、それがもたらした様々な変化は、おそろく、これからも続いたり、より発展・精緻化されていくことは、時代の必然でしょう。多くの方が感じておられるかと思いますが、より本格的に、テクノロジーやICTが社会で活用される時代となると感じます。医療については、今後、遠隔診療（オンライン診療）が、様々な議論・紆余曲折がありながらも、テクノロジーの進歩と共に確実に広がっていくでしょうし、AIやデバイスを用いた診療の補助や拡充も、行われるようになっていくでしょう。

それらが当たり前の世界となっていくはずですが、

表紙に栗田病院グループの理念が書いてございますが、私たちは、



栗田裕文 理事長

## 院長よりご挨拶

患者様利用者様、ご家族様等々、たくさんの方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続けることを使命としております。今年も引き続き、その使命を全うしていく所存です。様々な状況は「ございませぬ」、マイナスのことばかり考えていても、笑顔は増えませんが、「使命を果たせませぬ」。COVID-19があるうかがなからうが（或いはあるからこそ余計に）、私たちが行うべきことは理念の実践であり、「こころの未来を創造する」とこのビジョンを目指して歩み続けることと、考えております。先に述べた時代の変化も想像しながら、KSTP（栗田病院グループ）中長期経営計画を着々と進めて参ります。

理念やビジョンを目指す歩みの中、正しく2020がそうでしたが、全く平坦な道のりはないように、これからの様々なことが（嬉しいことが沢山、そうでないものも、もしかすると）あるでしょう。そして、確かなことは、どんな場合や状況でも、有朋会が目指すその先や使命には何ら変わりはないということです。使命を求め姿勢をしっかりと心に留め置いて歩み続けて、様々な経験を通過して学び、成長し、「こころ」の未来を創造して参ります。

2021年も皆様と手を携えながら、共に歩いていきたいです。ご指導、御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。どうか皆様にとっても、素晴らしい1年でありませぬように。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

（理事長 栗田裕文）

新年明けましておめでとうございます。今年こそ素晴らしい年となるよう皆様とともに新年を迎えたいと思っております。院長としてより一層気持ちを引き締めて運営していく所存です。どうぞ本年もよろしくお願ひいたします。

令和になった一昨年にこの近隣地域は水害被害を受け、さらに令和2年はコロナ禍が全世界を覆い、この広報誌が届く時期もまた新型コロナウイルスとの戦いの中と思っております。医療法人としてコロナ対策ばかりに費やされていますが、地

# 広報散歩

## 『居宅介護支援事業所 クリクリ』

### 部署や職員の紹介

居宅介護支援事業所クリクリは平成17年7月に県の指定を受けて開設され、当初はスタッフ2名で開始されましたが、現在はケアマネジャー5名、事務スタッフ1名の計6名で構成されています。

ケアマネジャーの資格取得※1には、ベースとなる資格とそれに基づく業務経験※2が必要となり、クリクリで働くケアマネジャーも看護師や介護福祉士、社会福祉士を取っています。

ケアマネジャーとしての実務経験は10年以上が3名、5年以上が1名、3年未満が1名と様々ですが、自宅で家族の介護を経験したスタッフもいるなど、高齢者介護の実状や大変さをよく理解したスタッフが勤務しています。

クリクリには、個性的なメンバーが揃っています。利用者様やご家族様を穏やかにそと見守りサポートするスタッフもいれば、突っ走って空回りするスタッフもいます。でも根本的な部分では、利用者様やご家族様に寄り添って「なんとかしてあげたい」という熱い想いを常に持ち合わせている、そんな素敵なスタッフが集まっています。

### 事業所の役割や仕事内容

ケアマネジャーの基本的な業務は介護保険制度で定められています。利用者様やご家族様からの依頼を受けて、まずは実際に訪問してご本人の悩み事や相談内容をお聴きします。さらに、ご家族様や関係者など多方面から情報収集を行いアセスメントする事で、より正確にご本人の状態を把握します。そのあと、ご希望に応じた居宅サービス計画書※2を作成していくのですが、作成にあたり使いたいサービスの事業所やかかりつけ医のご意見も共有するためにサービス担当者会議を開催します。

他にも毎月ご自宅に訪問させていただき、翌月の予定の確認や、現在のサービスに満足しているか、問題点がないかの聞き取りを行い、3ヶ月に一度現在のサービス計画書の



クリクリのスタッフ

内容でよいか評価していきます。

実際にサービスの利用を開始したあとも、利用者様の生活や体調の変化も定期的に確認しています。高齢という事もあって身体的・精神的な病気をお持ちの方も多く、医療や地域との連携を密に行う事もケアマネジャーの役割の一つです。

いわゆる困難ケースと言われるような方の担当を受け持つこともあるのですが、利用者様一人ひとりにとって最適なサービスを模索し利用に繋げるという意味では、どの方も区別する事なく対応させていただいています。

母体となる栗田病院は精神科の病院であるため、認知症の方や精神疾患をお持ちの方をお受けする事も多いのですが、栗田病院グループという特性を生かしたサービス事業所に繋げるなど、連携したサービスを提供できることがクリクリの強みでもあります。

介護保険のサービスは、制度により、ある程度枠組みが決まっていますが、利用者様やご家族様には、それぞれの望みや想いがあります。その方一人ひとりにとって本当に必要なサービスはなにか、そのサービスを提供してくれる事業所はどこか、その時その時の利用者様ご家族様の状況に応じた最適解を目指し続けることがとても重要です。

### やりがいを感じる時

こういった業界で働く人は皆さんそうだと思うのですが、まずは第一に利用者様やご家族様の笑顔、そして直接いただく感謝の言葉が何よりの喜びではないでしょうか。初めてご依頼を受けるとき、利用者様やご家族様はなにかしら悩みや問題を抱えていらつやいます。私たちが関わることでそれが少しでも解消され、笑顔やポジティブな言葉が増えていくことがうれいしですね。正に、栗田病院グループ理念の実践であると感じています。

そして、その方々の日々の変化に身近な存在として立ち会えることもやりがいにつながると思います。サービスを利用するようになって、自宅にこもりがちだった方が外に出掛けるようになったり、久しぶりにお風呂に入ってくれた

域の精神医療・ケアの向上につながることも取り組んでいかなければなりません。地域の課題は様々ありますが、その一つにアルコール関連性障害の方の対応があり、今年も当院としてもこれまでよりも積極的に受け入れることができればいいと思います。

また今年度は2年に一度の診療報酬改定の年でした。当院の関係する精神科領域での変更としては、「地域移行・地域生活支援を含む質の高い精神医療の評価」として、外来での地域生活支援を多職種チームでの対応、薬剤ではクロザピンや持効性注射剤の推進、周産期メンタルヘルスケア、ギャンブル依存などにも評価の改定がありました。精神科医療に関する診療報酬は、これまで十分評価されていなかった比較的少数の疾患・病態に対しての評価と、「入院から地域生活へ」さらには「精神障害にも対応した地域包括ケアの構築」に向けての活動を評価していくという2つの方向性があると思います。

当院は、従来から統合失調症、うつ病、躁鬱病、認知症などを中心に診療をしています。これらに関しては、よりケア・治療の質の向上に努めるだけでなく、それ以外の障害、病態について対応できるソフト、ハードの準備をすすめていくことが重要と考えます。

多くの専門職種の力を結集し、当法人が精神科医療機関としてより一層信頼される法人となるよう取り組んでいきたいと思っております。職員各々の日々の自己研鑽や地域の方々との連携・対話に努めつつ、これまで以上に柔軟な発想のもとさまざまなニーズに対応できる法人を目指し取り組んでいきます。ぜひ本年もよろしくお願ひ申し上げます。

（院長 安部秀三）



安部秀三 院長

### 今後のクリクリの目標、大切にしていきたいこと

前述のとおり、ケアマネジャーの基本的な仕事は、利用者様やご家族様から相談を受けて、契約を経てケアプランを作成するところから始まりますが、相談を受けても実際のサービス利用を躊躇されたり、家族で見守るから大丈夫と利用に繋がらないケースも見られます。お話を伺う中でサービスの必要性を感じたりする方も多いのですが、ご本人達が納得されないと介入できないのが実状です。しかし、一度お話を聞いた方がどうしても気になつてしまつた方がクリクリのケアマネジャーです。契約はなくても、病院受診時に声掛けしたり、他の用事で近くを通りかかったときに訪問させてもらうなど、本当に必要となった時にスムーズにサービスの利用に繋がられるように顔の見える関係性を続けていきたいと思っております。

そして、どの方に対しても同じ立場・同じ目線でいられること、利用者様やご家族様に寄り添う気持ちを大切にしていきたいです。ケアマネジャーとしての経験だけでなく、今まで経験してきた仕事や自身の生活で体験したこと、人との関わり、それらすべてがこれからの仕事に役立つものだと思います。それら一つひとつを大切に感じてくれるクリクリのスタッフと一緒にこれからも働いていきたいです。もちろんこれから一緒に働く仲間になつてくれる方にも期待しています。そして、働きやすい職場作りも行つていきたいです。ワークライフバランス、働き方も変わりつつある中で、女性が多い職場は結婚や育児などライフイベントもたくさんあるかと思っております。それでもクリクリなら仕事を続けていける、続けていきたい、そんな職場にしていきたいです。

これまで栗田病院グループとして積み重ねてきたよいところはそのまま伸ばしていくと共に、若い世代の新しい風とうまく融合して、発展し続けるクリクリを目指していきたいです。

※1 本文記載の他、生活相談員や相談支援専門員など、相談支援業務の経験年数に応じて受験資格を得られる場合もある。  
※2 居宅サービス計画書：訪問介護やデイサービスなど、在宅で受けるサービスを中心に検討されたケアプランを示したものである。

# フォーカス くりた人



認知症治療病棟（マロン病棟）  
介護福祉士 友常佑二

当院で働く職員の声をお届けします。

## 病棟での役割や活動、担当している業務を教えてください。

マロン病棟は、認知症に伴う様々な症状により在宅や施設での生活が困難となった方を受け入れ、集中的な治療を行う認知症治療病棟です。

認知症にもたくさん種類があるのですが、当病棟に入院されている患者さんの多くはアルツハイマー型認知症の診断を受けており、その症状は軽度から重度まで様々な方が入院されています。そのため一人ひとりの状態に合った治療をチームで考えながら提供しています。

病棟での介護福祉士の主な役割は、整容、入浴介助、食事介助、排泄誘導など、入院患者さんの身の回りのお世話が基本となります。このほかにも、入院生活が続きマンネリ化しないように、レクリエーションの提供なども行っています。レクリエーションは我々介護士と作業療法士が企画者となつて計画を立てています。レクリエーションの中身はその時々で異なりますが、なるべく四季を取り入れたものを心掛けています。四季を感じてもらつたことで入院生活にメリハリをつけてもらうためです。

## 現在力を入れている取り組みを教えてください。

退院に向けたサポートも介護福祉士の大事な役割の一つです。入院中の介護ももちろん大切ですが、一番重要なのは退院された後、施設やご自宅に戻られた後も介護の必要な生活は続くという事です。

# 新型コロナウイルスに関する 当法人の対策について

当法人では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため以下のような取り組みを実施しております。

## 『新型コロナウイルス感染対策ポリシー』

### 【患者様・ご家族様へのお願い】

- 発熱、風邪症状のある方は、診察の場所および順番の案内を変更する場合がございます。
- 可能な限りマスク着用をお願いします。
- マスク着用されていない患者様・ご家族様は、医師と一定の距離をとって診察させていただきます。
- 待合室を含む院内の換気を定期的に行っております。
- 入院患者様との直接の面会は原則禁止とし、オンラインを活用した面会を推奨しております。
- 入院患者様の不要不急な外泊・外出は原則禁止としております。

### 【職員の感染予防策について】

- 手洗い・個人防護具の取り扱いについて再教育し、実施状況を各部署で毎朝確認しています。
- 病院内の椅子、テーブル、ドアノブ等を定期的に消毒しています。
- 37.5度以上の発熱または風邪症状がみられる職員は就業停止としています。
- 県内外の職員の出張を原則禁止しています。
- 栗田病院、こころのクリニック水戸、デイサービス等、法人施設間の職員の移動を最小限にしています。

## 『現在当法人で行っている具体的な対策(一部)』

### ○密接状況の緩和について

待合室や診察室での密接状況緩和のため、待合室の椅子の配置を変更しています。また、ソーシャルディスタンスの観点から、受付や会計の際に一定の距離を保つてお並び頂いています。



これらの対策を徹底するとともに、随時新たな対策を実施してまいります。また、行政機関・保健所などの指導や要請があった場合も速やかに対応してまいります。しかしながら、さらに新型コロナウイルスが流行拡大することで当院職員が市中にて感染する可能性は否定できません。万が一、職員の感染が判明した場合は、行政機関・保健所の指導のもと、濃厚接触者等の就業停止や消毒などの適切な対策を実施いたします。上記取り組みは、令和3年1月現在のものであり、地域での感染状況により随時変更となる場合があります。

### ○飛沫感染の防止について

外来受付窓口および外来診察室に透明のビニルシートまたはアクリル板を設置し、飛沫による感染を防止します。



患者さんの退院が近づくことと入所予定である施設の職員や市役所の職員が実態調査、認定調査にいらつしやいます。退院に関する基本的な窓口は病棟専属の精神保健福祉士が担当しますが、入院生活の様子や患者さんが自身でできる事、善い事などは、近くで患者さんの変化を見届けてきた介護士がよくわかっています。必要な情報がより正確に伝わるように専用のツールを作成してお渡しするようにしています。この取り組みは介護士の専門性を活かすために私が推進した活動で、こうした明確な目的を持ったツールを普段から作成することで、意識的に患者さんを見る風土が生まれています。これからも、こうした取り組みを積極的に進めていきたいと思います。

## 患者さんとの関わりで大切にしている事はありますか？

患者さんの言葉や行動一つひとつを大事にしています。どんなに小さな事であっても、その中に患者さんの本当の想いや悩みが隠されているかもしれないからです。私は学生の頃に、患者さんのどんなに小さな訴えでも真摯に対応すべきと教わってきました。これは今でも私の介護士としての基本姿勢となっています。認知症の患者さんはすぐに忘れてしまふ、なを言ってもわからない、といったネガティブなイメージが先行しがちですが、うれしい事や楽しい事、悲しい事などの感情はきちんと残っています。患者さんに対し丁寧にしていく真摯に向き合う事で、信用や信頼に繋がります。結果としてケアの提供に繋がります。こうした関わりを続けると、患者さんによく名前を聞かれるようになります。私の対応を評価して覚えていこうとしてみたいです。信頼関係が築けると、困り事や悩み事を話してくれたり、私が不在の時に「今日は友常さんいないの？」と探してくれたり、患者さんが頼りにしてくれている事を実感できうれしく思います。

## 介護福祉士を目指したきっかけは？

私の両親も介護の仕事に携わっていたので自然とその道に進んだという事もあります。もともとおじいちゃんおばあちゃんが好きで、高齢の方との触れ合いに抵抗がなかった事も大きかったですね。実際に仕事として意識し始めたのは中学生の頃でした。当時日本は高齢社会といわれ高齢化はど

んどん進んでいました。将来必ず必要となる、社会の役に立っている職業だと感じ、介護の仕事に就きたいと思うようになりました。高校卒業後、知識をつけるため専門学校に入学し、介護福祉士の資格取得を目指しました。子供の頃からの夢を実現できたという意味では、充実した日々を送っています。

## 今後の目標を教えてください。

身体拘束や隔離などの行動制限をなるべく減らし、最終的にはゼロにする取り組みを進めていきたいです。特に転倒・転落防止のための抑圧は、なるべく減らしていきたいですね。実際に、ご家族との面会時に抑圧を外してみようと提案した事があります。もちろん医師に相談し、安全を十分に考慮した上ではありますが、ご家族様にも見守っていただき、面会時間は抑圧を外して過ごす事ができていました。こうした取り組みを少しずつ病棟全体に広げていきたいと思います。

また、ご家族へのアプローチにも力を入れたいと考えています。具体的には、ご家族も巻き込んだ治療、チーム医療の一員になってもらいたいです。入院治療のゴールは、症状が改善して退院する事だけでなく、むしろその先、退院後地域での生活を安心して送れる事だと思います。そのため、入院されている間も患者さんとご家族の心の距離を保ちつつ、認知症への理解を深めてもらう事がとても重要です。入院してそれきりではなく、我々と一緒に治療者となつて患者さんと向き合ってもらいたいと感じています。

そしてこの活動は、ご家族だけでなく地域にも広げていきたいです。残念ながら、現在の医療では認知症の根治治療は難しいと言われてます。しかし、認知症になったからといって、その方の生きてきた歴史がなくなるわけではありません。若い青春時代もあれば、バリバリ仕事をしてきた時代もあったと思います。患者さんと真摯に向き合い一人ひとりを知る事で、認知症の理解も深まり、結果としてよいケアに繋がります。そして、もつと経験を積んで、病棟での取り組みや自身で体験した事を誰かに伝えたり、教えたりして、世の中に発信していけるようになりたいです。認知症に対する皆さんの考え方が少しでも変わっていくような活動をおこなっていきたいです。



## 診療案内

### 外来担当医一覧表

|     | 診察室 | 月          | 火  | 水  | 木  | 金  | 土                  |
|-----|-----|------------|----|----|----|----|--------------------|
| 午 前 | 1 診 | 栗田         | 疋田 | 安部 | 栗田 | 鈴木 | 水挽                 |
|     | 2 診 | 安部         | 高橋 | 堤  | 木滝 | 堀  | 第2週 鈴木<br>第3・5週 吉川 |
|     | 3 診 | 堤          | 早坂 | 木滝 | 増本 | 疋田 | 翠川                 |
|     | 5 診 |            |    | 水挽 | 富野 | 翠川 | 富野                 |
| 午 後 | 1 診 | 栗田         | 田中 | 安部 | 栗田 | 鈴木 | 水挽                 |
|     | 2 診 | 安部         | 高橋 | 木滝 | 木滝 |    |                    |
|     | 3 診 |            | 早坂 | 竹下 |    |    |                    |
|     | 5 診 | 第2・4・5週 樋口 |    |    |    |    |                    |

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。

2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■ = 内科

受付時間 8:30～11:30 / 11:31～16:00  
診察時間 9:00～ / 13:30～

\*精神科外来は完全予約制になります。  
\*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。  
予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

## 関連施設

### サテライトクリニック

「こころのクリニック水戸」 〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-5-15 TEL.029-231-0150 FAX.029-231-0152

### 障害福祉サービス事業所 自立訓練(生活訓練) ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL.029-295-1834 FAX.029-353-2223

### 障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第1くりの木」 「第2くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652  
「第3くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681  
「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

### 就労継続支援B型事業所

KURITAワークサポートセンター  
「Work-Work」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

### 認知症デイサービス

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263  
「クリクリ金上」 〒311-0022 茨城県ひたちなか市金上1031-1 TEL.029-271-1607 FAX.029-271-1608

### 小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」  
〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750  
認知症グループホーム「クリクリ田彦」  
〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950-48 TEL.029-275-8701 FAX.029-275-8702

## アクセスマップ

